み育てる産科、 ている。また、 制維持には理解を得られ

子供を産 小児科は

### 件 般質問 竹内 降 議員 5 の

## 厚生病院改革の方向性 地域の求める病院像で新たな体制へ

町長:医師確保や親しまれる病院づくりを支援

④競争入札による物資や 体となり改革する。その 宇などの連合体が運営主 ③病院改革はもう厚生連 で患者も増える。 新しい病院像を描くこと ②患者も不足している。 像を描く。 サービスの購入、コスト い医療機関に譲渡する。 では無理。羊蹄山麓や岩 意識の喚起を申し入れる。 新しい理念に相応し 長はどう考えるか。

移譲要望を断って 厚生連からの病院

りを積極的に支援してい 先し、親しまれる病院作 医師確保の支援を最優 医療検討会でも救急体 る。

よう申し入れするべき。 ら同意不同意を決定する 町村の態度を確認してか 北電との協定より効果が 竹内 要なら、北海道が 北海道の同意が必

な医療機関に譲渡する。

院改革を行い新た 一時的に買収し病

改革が済むまでの話。

ある

負長です。

教育長はどう思うか。

竹内

向性について 厚生病院改革の方

民に求められている病院 ①拠点病院として地域住

でいる事例がある。 きない。八雲町、別海町、 していくしかない。 士別市など赤字で苦しん クを考えると町立にはで 病院の改善計画を支援 時的でも公営に その後のリス

## 市町 原発同意権

同意が必要。 原発同意権を拡大すべき。 象になるか。 北電との協定に13町村も 町長はどう考えるか。 働に立地自治体の 原発の稼働・再稼 市町村も対

事項ではないが、4町村 原発の再稼働は事前了解 と同様の協定を求めてい 明確ではない。 立地自治体の範囲 泊

教育委員会の長は教育委 委員長が行うべきです。 教育行政執行方針は教育 育長が行うのは結構だが 教育行政報告を教 今定例会のように

## 開

えてはどうか。 者を準教育委員として加 質問や意見を述べる傍聴 教育委員会となるために た教育委員会、開かれた 町長の推薦と議会 の同意で選任され

育委員協議会を廃止すべ 非公開の閉ざされた教

則公開している。 いる。人事案件以外は原 教育委員会が構成されて 教育長 ある多様な委員で 八格高潔の見識

誤解を与えないよう適正 的に運営されていない。 な運営に努めたい。 教育委員協議会は制度

教育委員長から教育執行方針は

審議委員会で 教育長 正配置 学校適

の答弁が樺山 会での教育長 62年の臨時議 はなく、昭和 分校存続の根 山分校は必要である。 樺山エゴで 自然の中の木造校

校の存続はど 模校の配置と 拠となってい なる。樺山分 配置は適正規 小学校適正

貴重な木造校舎の西小樺山分校

## 教育委員会に聞かれた

会の長い歴史の中で異論 教育長が述べるのは委員 は特にない。

務をつかさどり実施する 総意で決定した方針を事

教育長はどう思うか 樺山分校の存続

舎、複式学級の樺

い場ではない。 続を云々するには相応し 適正配置審議委員

る。 地域エゴとの誤解があ 新しい学校とは何な 勉強してほしい。 会で樺山分校の存

なく続けられてきている。

したい。 ている。 で協議・検討し結論を示 適正配置について審議し 備するために、 答申を得た段階 適正規模、

を述べる者の定め

教育委員の

教育行政執行方針

子供たちの教育環境を整

## 笠原 議員 啓 質 4

## 協 地4町村と同等に 77 町長の主張を貫 なるよ くべき

町長:16 市町村で統 ーすべく協議していく

> 海原発では立地町 東海第2原発や玄

まえるのか説明願う。 が、どのように意向を踏 まえ判断するとしている

議会や町民の意向を踏

れている。 村と同等の協定は拒否さ

明したが、特に意見はな 要望を吸い上げてもらい 今後の議会の意向を踏ま かった。議会は、 るよう協議していきたい。 4町村と同様の協定とな 任委員会で説明している。 まちづくり懇談会で説 北海道に関係市町村の 総務常

安全協定がないと

笠原

困ること、支障が

けではないか。意向を踏 願いたい。 あることを具体的に説明 議会、 町民にも説明だ

まえるとはどういうこと

検討願いたい。

動向、 され、 の測定報告、 れている。協定がない場 台ゼロに近い。 町長 風評被害も加えら 環境放射時・平時 の連絡会議が設置 協定により16町 立入調査の

問題や支障があるか。

がなぜ必要なのか。何か

締結に各自治体の一本化 ることに賛成です。協定 村と同様の協定内容とす

笠原

災協定、立地4町 北電との原子力防

か。

にはその都度相談したい。 しいと思っている。議会 所の雰囲気では大体よろ まちづくり懇談会10か

事項ではないか。 評被害や損害賠償も法定 起きた場合、国や道から 情報が入らないのか。風 笠原 に入った。事故が 町はUPZの範囲

国の対応になる。協定で 安心感や担保になると考 町長 償と風評被害は、 法的には、 損害賠

把握する方法のひとつで も町民の意向やニーズを くれる。 したアンケート調査など され安心できる病院がつ 笠原 ことで町民に信頼 問題点を改善する 全町民を対象と

地 町民の意向に地域拠点病院 は

いるのか、 拠点病院を作ろうとして に愛され信頼される地域 がどういう病院を望んで いるかをどう把握し町民 笠原 域拠点病院。町民 町民が期待する地 説明願う。

町民のための病院となる よう、体制・環境づくり に努めている。 な医療機能を存続して、 病院が地域にとって必要 町長 現在の地域センタ 病院である厚生

病院づくりを支援してい ちづくり懇談会での院長 の話など町民に愛される 厚生病院の公開講座やま 救急医療等への財政支 医師確保への取組み。

ある。 けになるのではないか。 町ぐるみでいじめは許さ め防止対策が必要となる。 笠原 と考える。 条例制定がきっか 地域ぐるみのいじ まな要因、背景が いじめにはさまざ

法だが、 アンケートもひとつの方 地域ぐるみの対策いじめ防止 町長 やっている。 先生方は一 難しい。 生 懸 命

条例制定の必要はないか いじめを防止する視点で き重点施策を説明願う。 笠原 本町の取り組むべ 学校安全等の取組 国によるいじ 8

機関が連携し、 体的支援が求められてい も必要。現状では、関係 条例制定の必要性の検証 勢を理解するが、 町全体で取組む姿 必要な具

切な対応を検討し、早急 に子どもを守ることが第 ケースに応じた適 いじめの実態把握

メント・懇談会等で多様 意見を徴取し、 な意見を伺う。 意見の他、パブリックコ 笠原 会の検討や直接の

町民の声をどう活かす給食センター

設置に住民の意見をどう を唱えている。 働による重要施策の実施 まちづくり、住民との協 活かすのか。 笠原 新たな給食センター 町長、 住民参加、参画 教育長共に

ど期待される。町民の提食育や地産地消の推進な るよう期待している。 言や議論を通じ評価され 十分協議を重ねている。 て、教育委員会で 移転改築事業とし

ター方式を決定。 討の結果、 広域化や方式の検 町民の意見による . 町単独のセン

画案の情報提供を行い、 本設計など行い、基本計 の協働ができないか。 本年、 体的な場で町民と 学校給食運営委員 検討委員会など具 用地を決定し基 検証する。

の活用の動向が急速に高 存型から自然エネルギー いることである。

原子力や化石燃料の依

く多くの方が強く思って

①脱原発について

町民だけでな

ことと考えており、

な代替エネルギー

社会を目指すのは当然の 長として将来的に脱原発 まっており、自治体の首 動きが加速している。

## 件の 般質問 龍 磯田

## 地域資源を活用し、 再生エネルギー

町長:再生エネルギー利用の重要性は認識している

力発電は、 している。 ③小水力発電等、 ②省エネの具体的な取り 対応、その理念は。 ①脱原発とエネルギ でに全国で38施設が稼働 安定した発電ができ、す にどう向き合うのか。 能エネルギーの導入促進 業用水路を利用した小水 全国の農村部にある農 年間を通して 再生可 i の

題として注目され、エネ ギーの確保が国の重要課 ルギーの大切さや節電等 意識改革が進んでいる。 原発に代わるエネル 出量の削減を目指してい 地球温暖化防止のための を策定して一 基本計画、 地域推進計画 一酸化炭素排

自然環境への負荷の低減、②本町では、地域環境や 保が必要だと思っている。 検討を行っている。 後志地域の小水力発電導 ③後志総合振興局では、

本町においても、 再

ギー 入モデルの構築に向けた 北海道再生可能エネル -振興機構も設立され

ている。 生

は認識している。可能エネルギーの

いて検討していきたい。 政状況等を総合的に勘案 よる技術の進展や町の財 どに努めて、 しながら、導入利用につ 引き続き、 研究開発に 情報収集な

> ②町長部局、 方向は。

も含めた対応。



小水力発電としては注目されている農業用水路

ついて積極的に協力して 強く認識し、 出の学舎であったことを として協力できる部分に 方針が決まったら、思い 今後、町長部局の利 教育委員会

0 重

中学校の有効利用統合される

磯田 ①施設の活用に対 する庁内の意見、

検討をしていきたい。 ③子育て、保育、高齢者 としての可能性について づく課題などの整理を先 交流総合施設の課題 んじて行いたい。 町長 そのうえで、総合施設 現時点においては、 まずは報告案に基

します。 東陵中学校は、 月末をもって閉校 3

局へ引き継ぐ予定で準備 後普通財産として町長部 産の用途を廃止し、 より、学校という行政財 定の手続きを行うことに を進めている。 その後については、 その

## 佐名木幸 議員 般質 子 3 の

## ルギー対応を学ぶ研修の推進

振興局レベルの研修会を要望していく 町長:

ことから、厚生労働省で での対応に苦労している 増加傾向にあり、保育所 町長 保育所におけるアレ 有する子供が年々 アレルギー疾患を

り組み、 ルギーの調査・研究を取 アレルギー対応

以前、

学校では緊急時に教職員 呼吸困難、意識障害と すい研修会を開催してほ とができるようになった。 が子供の太ももに打つこ 法に、エピペンという自 きる場合がある。 いったショック症状が起 係者や町民にもわかりや 用語が多いことから、関 るガイドラインは専門的 己注射薬があるが、 このアレルギーに関す この症状を和らげる方 一昨年に保険適用され 大変 えて、 ている。 佐名木

もいる。 らず、町外へ移住した方 を考えるときではないか。 世帯の3割を超えている。 中の若年層にも大変希望 高齢者に限らず、子育て 者が多いことから、増設 に入居したいというのは、 のひとり暮らし世帯が総 町営住宅が抽選で当た 自宅を手放し町営住宅 勢調査で、高齢者

4 7 1

道営住宅4団

町長

営住宅が9団地で 町には現在、

町

弁していたが、 り込んで検討したいと答 命化計画の中に増設も盛 公営住宅の長寿 その後は 討している。

ガイドラインが作成され

研修会の開催だが、

最

アレルギー児が健康で安 されており、 を過ごす保育所において、 ギーなどのアレルギーを めの取り組みが求められ 全な保育所生活を送るた 持つ乳幼児の増加が指摘 近、 喘息や食物アレル 生活の大半

症などアレルギーによる

苦しんでいると言われて

人はアレルギーで 日本人の3人に1

喘息や食物、花粉

佐名木

るよう要望していく。 研修会を開催してもらえ このような状況を踏ま 振興局レベルでの

高額である。

# 町営住宅の増設を

昨年実施され

地づくりを進める。 ミュニティバランスが崩 今後においては、 コ

新築された白樺団地

根絶 へ向けて 「いじめ

加害者にもなりえる状況 が目立つ。 まるとターゲットとなっ にあり、一度いじめが始 がきっかけで被害者にも た1人を攻撃するケース 徴は、 些細なこと

計画を策定し、今後20年安町公営住宅等長寿命化

間の事業実施について検

00戸の公営住宅がある。 地で129戸合わせて6

平成23年度には、

倶知

生徒間の 最近のいじめの特

> いる。 数の子供たちがいじめが生52名、中学生12名で半 継続されていると答えて るかとの問いには、 ると答えている。 08名、中学生29名があ かという問いに小学生1 いじめられたことがある ト調査の結果、 教育長 今でもいじめられて として、 本町における状況 今までに アンケー 小学

れている。 は10名が不登校と報告さ 小学校で5名、中学校で 不登校の状況としては

域との連携・協力、 取り組んでいく。 な学校生活を送れるよう 子供たちが楽しく健やか もらいながら、 などの専門機関の指導も スによっては医療や福祉 ろんのこと、 有や連携した対応はもち 向けて、学校との情報共 いじめや不登校の解消に 教育委員会としては、 保護者や地 すべての ケー

と状況、 いても直近の状況を伺う。 本町でのいじめの実態 また不登校につ

多様な世帯が混在する団 れることのないように、

### 芳男 件 般 質 問 5 の 原田

## ぜひ実現すべき 福祉灯油、

町長:緊急的措置をとりたい



暮らしを支える町政 原田 実現すべき ①福祉灯油、 ぜひ

原田

全ての事業で生活

住民税非課

見解を

世帯への負担は違法、他 ③デイサービスセンター. ②福祉ハイヤーの充実、 の事業との整合性が問わ 生活保護、 所得制限を緩和すべき 住民税非課税

続く状況になった場合に それぞれ見解を伺う。 0円台が相当期間 ①1ℓ当たり10

いる。 しつつあるものと考えて ない、初期の目的を達成 ②そんなに悪い条件では は緊急的措置をとりたい

利用者減免を、 住民税非課税者に限った については、生活保護、 ③違法ではない。整合性 いるものはない。 記載して

用問題で、

保育所

東陵中学校の跡利

するための基準を伺う。 原田 例の整合性、減免 違法というのは条

急に見直す。 基準は定めていない、 のみでの設定だが、 減免は一方の条例 早 を伺う。

町長

中で話題を提供し、 町づくり懇談会の のにほかならない、

見解

元代表制の理念を侵すも ことが突然出てくる。二

何う。 税世帯負担ゼロ、 町長

減免の手続き、今

明確に規定す

ケア付き住宅の実現

営住宅の実現を、見解を 原田 する、ケア付き町 歳をとったらどう

ていきたい。 住宅施策について検討し ケア付き住宅も含 高齢者向けの

町長

町長 必要があればい

最近の町政執行

十分配慮という通達が出 少人数校、少人数学級も 急に議論が進められてい 原田 無理な統合はするな、 級にこだわり、性 教育委員会は12学

相談なしに、いろいろな

管委員会と所管部局との ど最近の町政執行は、 の統合という話が出るな

所

りたい。 ができる学校を作 早急にクラス替え 通達は、 統合実

もっと話題提供すべき。 議論なしに東陵中

アンスだ、見解を伺う。 りに進めたいというニュ ェクトチーム(案)どお

なぜ急ぐのか。

れている時期でもあり、

のは非常に見直さ 小規模学校という

原田

は反省、どうしたらいい のかという話をしたい。 町長 アンスが出たこと 先にそういうニュ

べき 原田 見解を伺う。 会に町長は出席す 本来、 全ての委員

でも出席する。

されている、 小学校の統廃合議論 見解を伺う。 重に進める。 員会として議論をし、 申を受け、さらに教育委 なる議論、その答 審議委員会の十分

できませんという立場を 原田 なに急いでも予算措置 にブレーキを、そ 町長は教育委員会

に良い考えがあるならば 意見を伺っている。 議員 もの、 じない。 施の留意事項を補足する

原田 跡利用役場プロジ

結論を急いでいる訳では つ整理させていただいた、 目的に審議、 を整備することを

方向性を一

必要はない、 委員に対して失礼、急ぐ が出てくる、 たなざらしになる可能性 委員会が答申を出しても 原田 もない中で、審議 予算措置する財源 見解を伺う。 、それは審議

う。 原田 ンの雨漏り、

寿命化計画に基づき改 に改善すべき、見解を伺 町長 そのクレームにつ 早急 示すべき、 見解を伺う。

整合性の問題は生

ら教育委員会と協議する。 がある、具体的になった するにはさまざまな手続 町長 申が出ても、 審議委員会から答 実施

のこと、見解を伺う。 ないとどこかで言ったと 原田 は、当分手をつけ 樺山分校につい

望ましい教育環境

得ないだろうということ。 町長 当面は残さざるを 永久にではなく、

公営住宅の管理

ノースパークタウ

事業に取り組む。 **町** いては住宅係に連

慎